

**平成20年度当初予算 重点的な取組別概要**  
**<みえの舞台づくりプログラム>**

くらし3：閉鎖性海域の再生プログラム（主担当部：環境森林部）

**<プログラムの目標>**

伊勢湾をはじめとする閉鎖性海域を豊かで親しめる身近な海として再生するため、県民一人ひとり、大学等研究機関、市町、三県一市（岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市）、国などが連携・協力して、陸域からの負荷軽減や海域の環境保全、生態系の回復などの取組が進められています。

**<構成事業（担当部）>**

- （1）流域別下水道整備総合計画改定（県土整備部）
- （2）団体営農業集落排水整備事業（農水商工部）
- （3）伊勢湾海域浄化槽整備重点促進事業（環境森林部）
- （4）閉鎖性海域の多様な生態系の回復に向けた調査・技術開発事業  
(政策部科学技術振興センター)
- （5）水産業による水質浄化機能の向上技術開発事業（政策部科学技術振興センター）
- （6）伊勢湾漁場環境浄化型漁業推進事業（農水商工部）
- （7）閉鎖性海域再生のための漁場環境保全創造事業（農水商工部）
- （8）伊勢湾行動計画推進事業（環境森林部）
- （9）「みえのうみ」環境保全活動促進事業（農水商工部）

**<プログラムの想定事業費>**

（単位：千円）

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
(2,115,298)	(2,154,000)	2,152,000	2,194,000
1,814,100	1,637,843		

H19年度は現計予算額、H20年度は当初予算要求額

H19およびH20年度の上段括弧書き、H21年度、H22年度は第二次戦略計画の記載額

**<構成事業の目標>**

目標項目		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
(1)関連流域別下水道整備総合計画改定済水域数（累計）	目標値	-	3	3	3	3
	実績値	0				
(2)農業集落排水整備率（累計）	目標値	-	65%	66%	66%	70%
	実績値	61%				
(3)伊勢湾流域における浄化槽整備基数	目標値	-	3,500基	3,600基	3,600基	3,600基
	実績値	3,438基				
(4)技術開発および解明課題数	目標値	-	7課題	5課題	5課題	11課題
	実績値	2課題				
(5)移転可能な開発技術件数（累計）	目標値	-	0件	0件	0件	4件
	実績値	-				
(6)伊勢湾漁業研究実践活動グループ数（累計）	目標値	-	3グループ	6グループ	9グループ	12グループ
	実績値	0グループ				

(7)閉鎖性海域での浅海域再生面積（累計）	目標値	-	22.3ha	31.3ha	39.4ha	51.0ha
	実績値	14.6ha				
(8)伊勢湾再生連携市町数（累計）	目標値	-	6市町	13市町	17市町	21市町
	実績値	-				
(9)海洋の環境保全活動組織数（累計）	目標値	-	5組織	6組織	7組織	8組織
	実績値	4組織				

#### < 進捗状況（現状と課題） >

- ・伊勢湾の環境基準の達成率は、ここ数年 40%から 50%で推移するなど、達成率の低い状況が続いており、今後も、陸域からの汚濁負荷の削減や生態系の保全・回復による自然浄化能力の再生をより一層進めていく必要があります。
- ・伊勢湾の再生に向け、平成 18 年 2 月に国と関係自治体等で組織する「伊勢湾再生推進会議」が設立され、平成 19 年 3 月には、「伊勢湾再生行動計画」が策定されました。県としてこの行動計画に基づき伊勢湾の再生をはかるため、多様な主体と連携した取組を着実に進めていくため、本年度、有識者・NPO等からなる「伊勢湾再生推進検討会」を設立したところです。また、鳥羽市答志島をモデル地域とする環境省の「漂流・漂着ゴミ国内削減モデル調査」において、漂流・漂着ゴミの効果的な処理及び削減方策を調査・検討しているところですが、この調査を活用し、伊勢湾流域における漂流・漂着ゴミ対策にかかる広域的な枠組を構築することが必要です。
- ・英虞湾においては、産学官連携により自然浄化機能の増進・活用技術の開発を進めており、今後は、伊勢湾の再生にも活かしていくことが必要です。

#### < 平成 20 年度の取組方向 >

陸域からの汚濁負荷の削減に向けて、「三重県生活排水処理施設整備計画」に基づき、下水道、農業集落排水施設、浄化槽等の生活排水処理施設の整備を進めます。

閉鎖性海域の多様な生態系の回復に向けて、伊勢湾における浅海域の再生や英虞湾の底質改善を進めるとともに、漁業者や漁業団体、三重大学をはじめとした県内の大学等との連携・協力をはかりながら、貧酸素水塊の解明に係る調査や、生態系の回復や貝やノリによる水質浄化機能を高めるための研究などを行います。

「伊勢湾再生行動計画」の推進に向けて、多様な主体による海の環境保全に向けた取組を促進していくためのネットワークづくりや、モデル調査における知見を基に、漂流・漂着ゴミ対策に係る伊勢湾流域での広域的な枠組を構築するなど、国および三県一市の連携による取組を進めます。

#### < 他の主体の参画内容 >

- ・県民、市民グループ等は、身近な海の価値を大切に、生活排水対策への理解を深めるとともに、環境保全活動への積極的な参加と資源循環型のライフスタイルへの転換に取り組めます。
- ・漁業者、漁業関係者は、水産業の継続、適切な資源管理、調査研究へ協力して取り組むとともに成果の活用をはかります。
- ・大学等研究機関は、県等と連携して、干潟・藻場、貧酸素水塊等に関する調査や研究に取り組めます。
- ・市町は、県とともに、地域住民、市民グループ、漁業者、企業等の行う自主的な活動を支援します。

< 主な予算要求事業 >

団体営農業集落排水整備促進事業【20年度予算額 345,493千円】(事業(2)の一部)

「三重県生活排水処理施設整備計画」に基づき、市町と連携して計画的な集落排水事業を推進するとともに、農山漁村地域の生活環境の改善と水質の改善をはかります。

伊勢湾海域浄化槽整備重点促進事業【20年度予算額 441,414千円】(事業(3))

快適な水環境の確保、水環境の改善をはかるため、浄化槽について設置者に補助を行う市町および浄化槽を設置し維持管理を行う市町に対し助成を行い、浄化槽の普及を促進します。

赤潮・底泥対策技術開発事業【20年度予算額 12,920千円】(事業(4))

自然の自己修復機能を利用した赤潮の発生防止技術を開発するとともに、生態系に大きな被害を与える貧酸素水塊の規模縮小をはかるため、その発生原因となる底泥の堆積メカニズムについて調査を進めます。

水産業による水質浄化機能の向上技術開発事業【20年度予算額 5,320千円】(事業(5))

ノリの品種改良や養殖不能ノリ網の再生技術およびアサリ・ヤマトシジミ・ハマグリ等二枚貝類の貧酸素による被害低減技術の開発に取り組み、二枚貝・ノリの漁獲を通じて閉鎖性海域に流入あるいは堆積した栄養塩類の除去に貢献します。

閉鎖性海域再生のための漁場環境保全創造事業【20年度予算額 737,895千円】(事業(7))

閉鎖性海域(伊勢湾、英虞湾)において悪化する生産力・水質浄化能力の回復や富栄養化した底質の改善をはかるため干潟・藻場の造成や底泥の浚渫を行います。

伊勢湾行動計画推進事業【20年度予算額 3,246千円】(事業(8))

国と三県一市等で組織する「伊勢湾再生推進会議」において、平成18年度に策定した「伊勢湾再生行動計画」を着実に推進するため、大学等の研究機関など多様な主体との連携により、調査研究や普及啓発等に取り組みます。

「みえのうみ」環境保全活動促進事業【20年度予算額 12,410千円】(事業(9))

「里海」伊勢湾を再生し、豊かな海の恵みを取り戻すために、流域や海域の環境情報の収集・発信、地域で活動の核として行動できる人材の育成、多様な主体が参加する流域ネットワークづくりなどを行い、県民が主体となった海の環境保全に向けた取組を促進します。

